

今を未来に

【学校代表として26名の6年生が、三泗陸上記録会に出場しました。】(10月9日)

この日は、とても良いお天気になり、中央緑地公園の陸上競技場において、小学校三泗陸上記録会が開かれました。保々小学校は午前の部に参加させていただきました。連休明けでしたので、中には社会体育の活動中に捻挫をしてしまったという子もいましたが、運動会後から練習に参加をしていた人全員が記録会に出ることができました。



結果は、思い通りという子もいれば、「入賞しなかった。」と振り返る子もいました。入賞をした人は、以下の人たちです。

○男子ソフトボール投げ

1位：齋藤翔稀さん(60m26cm)

4位：山野大輝さん(57m13cm)

○男子400mリレー(100m×4人)

4位：宇佐見倅生さん・金津涼聖さん・伊藤琉泉さん・稲垣歩さん(58秒5)

入賞できた人は、本当におめでとう。練習をしてきたかいがありました。また、入賞はできなかったけど、自己記録を更新できたという人も何人もいました。努力は裏切りませんね。そして、大会の緊張感もあってこの日は記録的にはふるわなかったという人もいましたが、保々小学校の代表として最後まで全力を出してくれたことに、拍手を贈りたいと思います。



【3年B組 総合学習の全校研修を行いました。】

昨日2限目、3年B組の中野先生に人権総合学習「わすれるということ・にんちしょうについて」～キラキラ保々キッズ・明るく人にやさしい、親切なまちって？～の授業を公開してもらって、職員全校研修会を持ちました。

3年生は1学期から学校のまわり探検を始め、学校の南側にある「聖十字保々在宅介護支援センター」の存在に気づきました。「聖十字ってどんなところ？だれがいる？」と考え、聖十字さんとの交流を行い、利用者の方と話をしたり、普段されていることを教えていただいたり、昔の仕事や保々のことを教えていただいたりしてきました。そうやって人権総合学習をすすめてくる中で、夏季の職員研修で「高齢者のことについて学ぶ機会って、なかなかないよね。」「小学校では3年生でしっかりと掘り下げていかないと、子どもたちは何も知らないまま卒業していくのではないか。」「それは大人になっても同じかもしれない。」そんな職員間での話し合いを受けて、今までの学年以上に高齢者（子どもたちから見たら曾祖父・曾祖母にあたる世代の方）の方々のことを知っていく学習を子どもたちと創り上げていこうということになって、今回の提案授業になりました。

私も86歳・82歳の両親の介護をしながら仕事を続けているので、正直な所「自分を育ててくれた親だからこそ、どんどんできなくなる姿を見ていくことがしんどい。」と思っていたので、子どもたちがお年寄りのことを、その中でも認知症についてどのように考えていくのかと思って授業を観させてもらいました。子どもたちは2学期になって、何冊かの絵本や聖十字保々在宅介護サービスセンターの施設長さんや介護福祉士さん、四日市介護高齢福祉課の方々からの聴き取りなどを通して、認知症に関して知ることが大切ということに気づいてきていたようで、紙芝居に登場してきたおばあさんが何度も財布が見当たらなくて探すというシーンでは、おばあさんには「いっしょに探すよ。」と寄り添う意見が、お母さんには「認知症について相談した方がいいよ。」「病院へ行った方がいいかもしれないと教える。」「お母さんも疲れているよね。」と声をかけるという意見が続き、認知症の家族がいたら寄り添うことが大切という今までの学びに基づく意見が多く出されました。その中で「すぐに忘れる！ってどなりたくなるけど、我慢する。」という意見があり、私は家族だからこそそんな気持ちにもなるよねと、心の中でこの意見に共感をしていました。

3年生の子どもたちにとって、高齢者の介護や認知症については、実体験と結び付けて考えることが難しい人権課題であり、私たち教職員もここまで踏み込んで実践をしたことが今までほとんどなかっただけに、「自分なら・・・」と子どもたちが考えることができるかという心配もありました。しかし、授業者の丁寧な教材研究と授業の準備、介護に関係する仕事をされている方々からのアドバイスもあって、「自分なら・・・」そして「自分はどんな生き方をしていきたいか。」という人権総合学習のねらいに、近づいている子どもたちの様子でした。

【明日は授業参観・学級懇談会です。】

明日は、5限目授業参観・6限目学級懇談会（6年生は内容に変更有り）が予定されています。授業や学級懇談会で、人権総合学習や生活科についてどの学級でも保護者の皆様と考え合って、今後の学習を進めていきたいと考えています。どうか、子どもたちのために時間を作っていただき、学級懇談会にもご出席ください。よろしく申し上げます。